

令和5年第5回 蕨市国民健康保険運営協議会会議録

■日 時 令和5年12月21日（木） 午後2時00分～午後3時00分

■場 所 市役所5階 第二委員会室

■出席者（敬称略）

委 員 植田富美子（会長）、山脇紀子、先崎隆、加山千恵子、佐原勝治、金子健二、本吉義博

事務局 藤野聡雄（納税課長）、大山麻美子（医療保険課長）、
藤田哲平（医療保険課係長）、田中緑（医療保険課係長）、
棚井貴子（医療保険課主査）、花見至（医療保険課主事）

■次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 審議事項
 - （1）議案第1号 蕨市国民健康保険税の税率の見直しの検討について
 - （2）議案第2号 蕨市国民健康保険税の税率の見直しについて（答申について）
4. 蕨市国民健康保険税の税率の見直しについて（答申）
5. 市長挨拶
6. 市長との懇談
7. 閉会

■内 容

【1. 開会】

【2. 会長挨拶】

先月に第4回の協議会を行い、委員の皆様からの協議を踏まえた答申案が出来上がった。答申案を見直し、今日答申したいと思う。皆様のご意見、ご協力をお願い申し上げます。

【3. 審議事項】

（1）議案第1号 蕨市国民健康保険税の税率の見直しの検討について
上記のことについて、事務局から説明した。

（議案第1号 - 1 令和6年度蕨市健康保険税試算案（非公開）

議案第1号 - 2 蕨市国民健康保険税額の比較（非公開）

議案第1号 - 3 蕨市国民健康保険特別会計 一般会計繰越金の推移（非公開）

議案第 1 号 蕨市国民健康保険税の税率の見直しの検討については、異議なしで、議案第 1 号のとおりとすることです承された。

(2) 議案第 2 号 議案第 2 号 蕨市国民健康保険税の税率の見直しについて (答申について)

上記のことについて、事務局から説明した。

(議案第 2 号 - 1 蕨市国民健康保険税の税率の見直しについて (答申について)

(非公開)

議案第 2 号 - 2 蕨市国民健康保険税の税率の見直しについて (答申案) (非公開)

議案第 2 号 蕨市国民健康保険税条例の一部改正については、次のとおり異議なしで、議案第 2 号のとおりとすることです承された。

【4. 蕨市国民健康保険税の税率の見直しについて (答申)】

【5. 市長挨拶】

10 月より 3 回にわたり議論いただき、ただいま植田会長より答申をいただいた。改めて皆様のご尽力に感謝申し上げます。

県の標準保険税率に照らして、蕨は段階的な改定を行っている途中で、令和 5 年度当初課税ベースで 26% 不足している状況である。県の運営方針においては、令和 9 年度からの保険税水準の統一が目標に明記されている。生活に配慮しながらの段階的な改定、四方式から二方式への移行に向け、具体的な税率を示していただいた。

また、答申の中で保険税収納率向上のための取り組み強化のほか、特定健診・特定保健指導の受診率向上対策の取り組みなど、医療費適正化の取り組みについても貴重な提言をいただいた。こういう取り組みについては引き続き進めていく。

3 回にわたる審議で具体的な税率の答申をいただいた。市としては答申を重く受け止め 3 月の定例市議会に改正案を提出させていただきたいと思っている。

物価高騰の厳しい中の税率引き上げで市民生活に少なからず影響もあり、法改正による広域化という難しい状況だが、県運営方針を踏まえ丁寧に説明し、ご理解いただく努力を行っていく必要がある。

委員の皆様には難しい提言についてももしっかり審議いただき、答申いただいたことを感謝申し上げます。

【6. 市長との懇談】

委員：物価高騰や国政の様々な値上げの中で、蕨市も値上げせざるを得ない状況で、今回ばかりは近隣他市より税率が高くなるのは残念である。市民に分かりやす

い説明をお願いするとともに、国や県に必要な要望を引き続き伝えていただくようお願いしたい。蕨市が目指しているスマートウェルネスシティの実現を希望している。

- 委員：厳しいですが埼玉県全体に合わせていけるようになったので良かったと思う。
- 委員：物価高騰で郵送料も上がるなど大変だが、薬代、薬価が下がるので医療費も大きく伸びないと思う。値上げは妥当だと思う。
- 委員：県標準税率から見ると低い、近隣他市から見ると高くなる。物価高騰がある中で保険税も上がるのは苦しいと思うが、市民にどのように説明するかがこれからの課題になると思う。
- 委員：社会保険から国民健康保険に変わった時は他市に比べると安かった。年齢を重ねると病院に行く回数も増える。国民健康保険制度がなくなると大変なので、値上げは仕方ないと思う。
- 委員：年金収入は上がらないのに軒並み物価高騰で厳しいという印象。国民皆保険を支えるという意味で、やむなく是正していかななくてはならないと思う。健康づくりでも蕨は積極的に取り組んでいる。公園でのラジオ体操もだんだん参加者が増えているので、更に取り組んでほしいと思う。自分も積極的に参加したいと思う。
- 植田会長：もし据え置いて値上げをしなかった場合、令和8年、9年には急激に上げざるを得ない。申し訳ないが、段階的に上げないと統一化されるときに蕨市は遅れてしまう状況にあるのでやむを得ない。保険制度がなくなると大変なことになるので維持していかななくてはいけない。3月市議会まで時間的には余裕があるので早めに状況を広報して周知してほしい。
- 「健康密度日本一」というテーマを掲げて頑張っているの、協議会も働きかけていけたらと思う。
- 市長：物価高騰という厳しい中、国民健康保険制度を持続可能にし、統一化まで県標準税率と26%差がある厳しい中でも段階的に税率改定をせざるを得ないことをご理解いただき、答申をまとめていただいたことに感謝申し上げたい。
- 健康密度日本一というスローガンを引き続き掲げ、それに加えてスマートウェルネスシティという、このまちで暮らす中で意識的に健康づくりに参加していくことはもちろん、自然と歩きたくなるウォーカブルなまちづくりにも取り組んでいく。
- 蕨市は一人当たりの医療費は低い、県の広域化に医療費水準が反映されていない。
- 毎年収納率は上がってきているが、一層努力し取り組みを進めながら、協議会の意見も県にしっかり伝えて対応していきたいと思う。

以上